

2024 年度

ニチキッズ新三郷保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025 年 1 月 6 日（月）～1 月 31 日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025 年 2 月 12 日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、日々職員と話し合い、計画を立てながら、子ども達が「やってみたい」と期待が持てるような活動を職員間で話し合いを重ね取り入れ実施することができた。
子どもの発達援助	個々の発達に応じた言葉掛け・対応を心がけ、発達とともに声かけや援助の仕方を工夫し、子ども主体で自らあそびを選べるような環境づくりをした。
保護者に対する支援	日々の連絡帳や送迎時に子どもの様子を共有したり、成長の様子を伝えたりすることでともに喜び合いながら発達を見守ることができた。また、個人面談をすることで、家庭と保育園での様子を共有し、子どもの方向性を確かめ合った。
保育を支える組織的基盤	外部研修や園内研修に参加した際は、職員間で共有したことで全職員の保育への意識を高まった。子ども主体の保育を意識しながら、子どもの興味・関心を捉え、自らやってみようと思える環境づくりに配慮することができた。

総評
行事や食育活動を通して、保育者や他児と一緒にやりとげようとする気持ちを育むことができたと思う。食育では、五感を感じられるような活動を栄養士と保育者で計画を立て、実践することができた。 日々、子どもの成長を保護者の方と共有し、保護者の方からも感謝の言葉を頂くことで、保育者のモチベーション向上にも繋がったと思う。小規模保育園ならではの強みを最大限に活かし、個別対応をしたり、ゆったりと安心できる環境づくりにも配慮することができた。今後も子どもの「やってみたい」という気持ちを大切にしながら、保育の質向上を意識し、保育を充実させていきたい。